いまかね町政だより

印刷所　今戸印刷所
編集人　小西恒藏
發行人　今金町議會議長　齋藤房由
發行所　今金町役場

年頭の詞

今金町長　齋藤房由



町内の皆様新年おめでとう御座います

昨年は何かと町政運營の面に御支援下さいましたことにつき心から感謝申し上げる次第であります

昨年は吾人にとつては眞に一大試練の年であつたといゝ得るのでありまして政治的には年度當初衆議院の解散による總選擧と併せて參議院議員の通常選擧が行はれ又播種期以來の氣候適順を欠き異常な冷害をもたらし遂に昭和二十年來の冷害凶作に直面したのでありますが幸不撓不屈の農民魂と關係者擧げての御協力により之が對策も日を次ぎ進められつつあることは誠に感謝に堪えない次第であります

さはあれ轉禍爲福の氣概を以て皆さんは既に本年の計を樹てられたことゝ信ずるのでありますが、折角の成案御計畫は著實にこれをなしとげて再び前年のテツふむ事なく悔のない一才を喜びと感激のうちに過していただきたいと念願して己まぬ次第であります。

町としても「冷害對策、利別川の電源開發、林道開さく、都市計畫、道營軌道客土事業の實施或は營林署、電報電話局又は高度酪農集約地域の誘致等一重要懸案事項が山積しておりまして是等は何れも關係方面の理解により好轉しつゝありとは云え、これが實現のため今後更に努力を傾注しなければならないのでありますが、一方これが實現を期すためにはひとり關係者のみでなく、町民各位の絶大の御支援と御協力に俟たなければその成果を期し得ない實情にありますので一層の御援助をお願いするものであります

又民生安定の一つとしてとり上げた公營住宅施設についても、一昨年公營住宅建設地として指定され既に二十五戸の建設を了し別に定めるところによりそれぞれ入居せしめたのでありますが不幸その選に漏れた方々、或は現在住宅に困つている人の爲、今年に於ても既に十五戸の建設がほゞ決定されて居りますので、早晩その希望に副え得るものと確信している次第で御座います。かくして私達の鄕土を明朗にして生氣ある住みよい「町」たらしむべく微力を盡す所存でありますので、絶大の御支援を希つて己まなぬ次第であります。

昭和二十九年の年頭にあたり町内みなさんの御多幸と御健康を心から祈念致しまして年頭の御挨拶とします。

新年所感

今金町議會議長　曾我井定一



今金町の皆様明けましておめでとう御座います

私も無事新年を迎えましてここに祝詞を申上げられますことは一重に皆樣方の絶大なる御支援のたまものでありまして厚く御禮申上げます。

昨年は豫期に反して凶作に見舞れまして農家も非常な困難を致したのでありますが、此の位の困難に意氣消沈するようなことなく慾々家業に精勵するとともに、日常の生活費はできるだけ節約して、お互いに手を引合い、助合い作ら豐作の秋を樂しみたいと思います。

私も微力ながら力の及ぶ限り勉めたいと思いますから昨年以上に御協力下さるようお願い致します

年頭の御挨拶

今金町森林組合長　加藤五郎

昭和二十八年という思い出多い歳もあらたまり、ここに手つかずの玉の新春を迎えることになりました。

新年はどなたも「おめでとう」を申しますが、はたして「おめでとう」か目出たくないかを決定するのはたれに責任があるでしょう。

迎える昭和二十九年は私等日本人にとつて非常に試練の歳と私は申し上げたい何となれば無謀な戰爭から多くの生命財産の損失に加え敗戰と色々の上にのしかゝつて來るものと思います

その上今金町長としては昭和二十八年の冷害による減收、私等は昭和二十九年こそ今迄にない苦しさを覺悟の前にむかいたのです。

森林組合としましてもこれが處理のため政府資金の導入に意をもち造林資金、伐調資金として七百万圓程の導入決定をみた次第であります。

せめても經濟危機に苦しむ組合員のため組合は皆さんの經濟助力を行うためには決して努力をおしまぬものでありまして皆樣の力强い御援助を切にお願い申し上げます。

私等一人一人が力を合せ六百組合員がこの經濟危機の本年をのり切る事が私等の幸福となるのであると私は思います。

祝 昭和二十九年新春

今金町役場

町長　齋藤房由
助役　柳太一
收入役　吉村太郎

総務課
課長　小西恒藏
庶務係長　戸澤定勝
　米世良夫
財政係長　石井政吉
　山崎信之
　久保田常次

厚生係長　石井傻直
　吉田英俊
　今野佑武雄
　稲垣勇
　中井誠司
　生駒正勝
　古畑正勝

戸籍係長　棚橋精次郎
　鈴木善六
　白山幸弘
　川武宏

統計係長　重村榮吉

農業委員會事務局長　大塚貞雄

課長　高田笹雄

産業課

今金保育所
保母　千葉綾子
　岩澤靖子
使丁　愛宕吉太郎

出納係　今村千萬
給仕　加我幸夫

出納課
係長　小西末春
　野中勇次
　太巢正佑

都市計畫係長　辻博
　水野勉
　栗谷文男

課長　加藤作次郎

土木係長　有賀正夫
　沼田正天
　梅木正

建設課
副委員長　伊藤伊三郎
　諸戸忠左衛門豊
　河端一
　鄉戸卯亮
　米山進一

建設常任委員長　河田清一

副委員長　南川松榮
　鴛野庄吉
　伊藤網藏
　鈴木正
　遠藤重太郎

土地改良係長　高橋勝三
　大塚勝
　日野清雄

開拓係長　吉田辰雄

商工林務係長　福田勝次
　多田初枝

副議長　曾我井定一

議長　井村金藏

議會事務局長　辻三喜男

副委員長　今野傳
　齋藤信光
　久米豐平
　岡部廣
　滑水健次
　谷川敬一
　三島鶴松

農業常任委員長　相原成男

副委員長　八代政孝
　堀義榮
　小貫三郎

警察署長警視　小貫三郎

巡査部長　河上源吾
　清水清一
　片山武司

巡査長　井仁三郎

巡査　菊地由晴
　渡邊仁之助
　三枝仁作
　久保壽男
　松尾修
　高橋幸資
　庄司一郎
　大隅善五郎

委員長　庄田亂富

委員　知川勘三郎
　河村由太郎

今金町公安委員會

委員　齋藤房由
　曾我井定一
　米山喜一
　伊藤五郎
　元村豐
　橫源一郎
　村本勇
　岡正男
　坪川國雄
　畑武雄
　石川正
　森川久太郎
　笹森武雄
　佐藤伊藏
　天沼義之進
　村上久太郎
　伊藤網藏

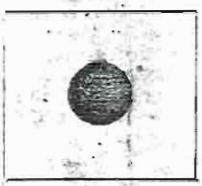
會長　藤倉久左衛門

今金町農業委員會

局長　飯田政市
　濱田邦男
　三谷久富子

事務局

新春を祝す　1954年の



今金町選擧管理委員會

委員長　吉村太郎
委員　柳太一
〃　小岩盛一
〃　野本ジン

今金町監査委員

佐藤謙治
伊藤綱藏

今金消防團

團長　辻理
副團長　日野太
〃　西田互藏

花石消防團

團長　佐藤末松
副團長　遠藤秀吉

稲川消防團

團長　安達乙松
副團長　澤口正一

常備消防

消防士　谷吉治
〃　古畑正雄
〃　岡良治
同　岡芳賀鉉夫

今金町教育委員會

委員長　前原一直
副委員長　藤倉久左衛門
委員　辻理
〃　村上幾三雄
同　井村金藏

事務局

教育長　森山安一
主事　瀬戸庄次郎
書記　笠原壯一
書記補　遠田昌晴
事務補　市原美智子
事務補　宮内昭夫
監理人　山田留貞
學務指導主事　楊喜久末

今金洋裁女學院

院長　森山安一
主任講師　信光今野百合子
助教師　中島愛子　村端妙子
教師　原田安枝　片岡榮子
講師　梅本ヨシ

今金町教育研究所

所長　清水正義
研究部長　岩澤丈夫
調査部長　田部亨一
庶務部長　瀬戸庄次郎

北檜山土地改良農業協同組合

（今金町役場内）

組合長理事　藤倉久左衛門
理事　服部才助
〃　中山源一
〃　南川松榮
〃　齋藤房由
〃　坪川國雄
〃　大越豊夫
〃　土田勝太郎
〃　畑武雄
〃　濱部弘
〃　吉田新平
〃　永山省三
〃　大木竹三
監事　小崎德太郎
〃　三島隣松
〃　南川薫
主事　佐々木作太郎

今金土地改良區

理事長　齋藤房由
理事　安部義雄
〃　藤倉久左衛門
〃　松尾松太郎
〃　岡正男
〃　三島隣
〃　佐藤伊藏
〃　南川松榮
〃　大原忠文郎
〃　安藤勝次
監事　淺田武三郎
〃　坪川國雄
〃　中山源一
〃　丹羽柳助

事務局

藤倉秀三郎
大脇德一
小西恒夫
三鍋千枝子

神丘土地改良區

理事長　天沼義之進
理事　山崎清太郎
〃　川崎義弘
〃　天沼汪
〃　山崎幹平
監事　工藤榮作
〃　清水隆次
〃　原元吉
〃　三島鶴松
〃　加藤源四郎
〃　土井俊夫
〃　黒澤眞之
〃　永井晉一
〃　齋藤勝由

今金町農業協同組合

組合長理事　我井定一
專務理事　細川勘三郎
理事　村上美三雄
〃　橋源一郎
〃　伊藤綱藏
〃　和田佐市
〃　鈴木正
〃　鹿川松榮
〃　天沼義之進
〃　畑末作
〃　原口昌已
〃　中山源一
〃　伊藤五一
〃　佐藤秀吉

新春を迎えるに當つて

今金町教育委員會
教育長　森山安一

教育の民主化と教育の自主性確保の大旗を掲げて發足された町村教育委員會も一年を經過し尚く二年目の昭和二十九年の新春を迎えたのであります。

この間における全國的な地教委の歩みはいたげられた、いばらの道であつた國民の政治への不信とその不信を更に重ねる政爭と其の渦中にあつて、日本の教育はいづこに行くかと危ぶまれそれは實にあらしに立つた教育に直面しての一年の歩みではなかろうか。健全な教育が望ひのは健全な環境と健全な理想そして計画でなければならない。

健全な環境は與えるものに限度がある。いたづらに與えられるもののみにすがるよりも先づ自らつくり出す氣がまえがなければ環境の健全性は生れて來ない。

地教委はかくて自ら環境をつくり出す氣がまえの當に存在すると思う。

又健全な理想は他をないがしろにして己れの權利の主張と權力の保持とのみに生れて來ない。

己れの義務を靜かに省み他人の權利を大きく抱くところの豊かな人間性の内に生れ出て來るものである。

私は町村教委の責任ある立場として實際經驗を通して大きな理想、遠大な計画が現實的に經濟的に爲し得る仕事の限界も大体判り、これを重点的に正しく強く教育施策の上に一歩一歩實現する年が昭和二十九年ではなかろうか。

然しながら最近町村教委の廢止説が新聞紙上などで報ぜられ、この責任者である文部大臣は自分の生命を通して育成して行くと明言している。

教育委員會制度の趣旨が教育委員會法第一條に明記されている様に教育が不當な支配に服することなく町民に對して直接に責任を負つて行われる事を保障するため、今金町の實情に即して教育行政を行おうとする制度であるから何人もこの趣旨を否定する事は出來ないであろう。行政の民主化という戰後の行政制度の改革の基本理念であるが全國一万余の市町村に教育委員會がすでに設置されている現在において地教委の廢止論や任意設置論をする事は、この制度が我國の教育行政の民主化になり得ないと云う確たるものがなければ到底とる事の出來ないものであるまいか。要するに地方行政制度の改革の方向を論ずるに際して一方的に行政の簡素化能率化を主張することは十分に愼重でなければならない。

そして其の方向はあくまでも「地方自治の本旨の實現に資することを目的とするもの」でなければならない教育の地方分權を企画し六三制の根本精神を生かして民主教育への革命を地方教委に託したのは、あくまでも正しい教育を、そして遅滯停滯する事なく、勇敢に教育施策を實現される事を希望しているためと考える教育の背後には多數の生徒児童父兄がある事を思えば一日といえども教育行政の空白を許されないではなかろうか。

教育行政の具体的面においては学校教育はもち論、これに對する實態の調査研究して實績をあげている今金研究所の性格を生かして地教委は計画を進めていく事が大切であろう。特に社會教育、家庭教育、勤勞教育の振興文化施設の充實に意を用え又教權確立のため將又安んじて聖職に沒頭の出來るようにしたい。地方教委施政二年目强力顯著にして實績を示して行く年ではなかろうか。

公民館の利用状況

▽昨年町民待望の中に今金公民館が發足しまし△
▽たが現在までの利用状況をお知らせ致します△

八　月　中

學級　二十六日今金教育研究所運營會議　二十七日第十五回教育委員會定例會第一回公民館運營審議會　三十日第九回社交ダンスパーテー

合會　十一日　町長より公民館施設の引繼ぎをうく
公民館開館公表　十三日
第八回社交ダンスパーテー　十五日　忠魂祭遺族援護會慰安演藝會　十七日　檢
ワークショップ大江村視察　十二日有線電氣通信法講習會　今金百貨サービス店設
研究所部長會議　檜山教育研究所北部支所專門委員會議　十八日第十北大橋本教授來館　五日教育研究所發表會　六日第十回社交ダンスパーテー　八日北海道移動圖書館「あけぼの號」來町　二十一日保育所落成式　中學校學藝會　二十二日町内中學校長協議會　二十三日社會學級（眞野先生）　文化祭行事打合會　交通法規説明會　二十四日圖工科實技講習會　二十五日教職員免許法の解説と現職教育　二十七日教育委員會協議會　第三回社會教育委員會　第四回公民館運營審議會　三十一日洋裁女學院夜間部修了式

十　一　月　中

二日綜合文化祭第一部行事　三日文化の日第一部行事　四日　教育研究所運營會議　兒童生徒研究發表大會　五日　今金婦人會役員會　七日　レコードコンサート　全道青年学級研究會細部打合會　十日　十一日　十二日　全道青年學級指導者研究集會　十一日　招待ダンスパーテー　七八日　4-H クラブ役員會　二十一日　社會科教育の諸問題として小中学校職員現職教育　二十二日社交D・P

二十六日　第四回社會教育委員會　第五回公民館運營審議會　二十七日　第九回公民館開館記念百貨サービス店創立總會　十日結婚ひろめ會　九日今金百貨サービス店創立總會　十日結婚ひろめ會　十日洋裁女学院卒業式（堤口家公民館第一號）　十一日今金幼稚園学藝會　十二日有線電氣通信法講習會　今金百貨サービス店設立總會

十　二　月　中

二日　結婚ひろめ會（日景氏）　第二號）　三日　洋裁女學院冬期入學式　五日　敎職員研修所發表會　六日　告別式　八日　町内婦人團体連絡協議會　渡島信用金庫今金支店役員會　九日　教育委員會　公民館運營審議會　公民館分館長會議　十一日　教育研究所所報編集會議　十二日　部長生涯教育會議　十四日　第一回子供會　今金町商工會議　十五日　高校遊學生徒研究發表大會　十六日　連合青年團役員會　今金保健區表彰式　十七日　函館開發局利別川治水事務所懇談會　二十九日　今金土地改良區理事會　一月新年申込の分　一日　新年交歡會　五日　運合青年團總會　クラス會　七日　今金婦人會總會　八日　農民同盟總會　敎組檜山北部支部長會議　十日　結婚ひろめ會（大倉氏）　十四日　童話と幻燈の會　十五日　成人祭行事　十六日　檜人通信教育スクーリング（面振教授）　十七日研究所部長生涯教育會